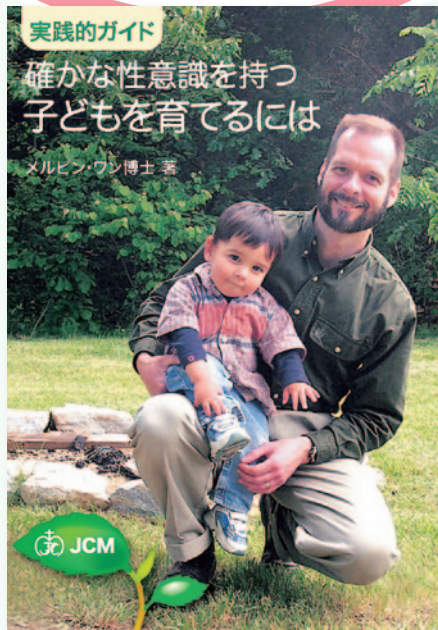


「同性の親との絆を結ぶ」

メルビン・ワン



メルビン・ワン 著
『確かな性意識を持つ
子どもを育てるには』

A5判 80ページ
定価 945円(税込み) JCM出版
*本書はFFJで取り扱っております。

成長段階において、最も基本的な原則は、子どもが幼ければ幼いほど、直接的な肌のふれあいが必要であるということです。触れる、抱きしめる、マッサージする、優しくささやく、くすぐる、またお馬さんごっこや、大きな声で笑うことなどが親密な愛着と信頼関係を同性の親と持つため

に時間を過ごすことがよくあります。そのような家族旅行が、男の子や女の子にとって、快適で楽しいものであるべきです。日本では、温泉などで裸の付き合いがあり、父親は息子と男湯へ、母親は娘と女湯に入ります。温暖な国々では、ビーチやプールのロッカールームで時間を過ご

に必要なります。それぞれの文化に合わせて、息子とキヤッチボール、フットボール、ソフトボールなどの男性特有の遊びをする。また、母親は娘の好きなゲームと一緒にするとよいでしょう。

すことが、母親と娘の、また、父親と息子の関係を深める時となります。これらは同性同士の絆を結ぶためにそれぞれの文化に適切な経験であって、親は意識して、健全な性意識の形成と発達のために、子どもの生活に取り入れるべきです。

また4歳までの幼い子どもにとって、恐怖心、恐れ、喪失感、また親から、特に同性の親からの拒絶感を感じさせないようにすることが重要です。しつけのためであっても、子どもが親の目の届かないところにいると感じさせてはいけません。

例えば、みんなのいる部屋から閉め出したり、玄関の外やベランダに出したり、押し入れに閉じ込めたりなどしてはいけません。5歳以上の子どもには表現豊かな褒め言葉や、肯定的な語りかけなど、言葉かけが、より役に立ちます。同性の親からの男性女性特有の贈りものは、親子間で、特別な時を祝うために大切です。

例えば、息子の卒業祝いに、父親は祖父から受け継いだポケットナイフをあげることもできます。そしてよくやった、えらいと褒め、「おじいちゃんも生きていたらどんなに喜んだだろう」と言うので

例えば、年長の娘には、両親と一緒に買い物に行き、娘の初潮(少女から子どもを産むことができる女性へと成長したこと)を祝う特

別な贈り物、たとえば宝石などをあげるのです。

父親は、娘が自分の身体の変化に配慮して、母親が一人でこの特別な贈り物を娘にプレゼントをする方がよいかもしれません。娘の誕生日や卒業の時、母親は娘の欲しがっているイヤリングや財布を買ってあげることができます。

高校の卒業式には、祖母が身につけていた指輪を、形見や家宝として、娘に贈ることもできます。



著者は、カリフォルニア州で開業している州公認の臨床心理学者。2011年には沖縄、東京など各地で講演する。本書は著者の処女作。